

あした、
わたしは
瀬戸内に。

牛窓

忙しかった仕事も落ち着き、
子供のような気持ちで
ガレージからお気に入りのオープンカーを取り出す
久しぶりに触れたハンドルが、何故か懐かしい

高速道路を西へ走り続ける
瀬戸内ツーリングは、すっかり二人の目的になったようだ
妻は慣れた手付きでベルトを締めながら
ツーリングコースを思案中のようだ

「そうだ、今日は岬のペンションへ泊まりましょう、
明日の朝日を見るために」

青い空の下、二人で西へ
瀬戸内市を貫くブルーラインと海辺の道は
ふたりの気持ちを解き放してくれるような魅力がある
遠くに浮かぶ瀬戸内の島々や異国情緒溢れる町並み
緩やかなワインディングを
リズムカルなエンジンの鼓動とともに岬をめざした

「ここには魅力溢れる海がある」



昔、牛窓が国際都市として栄えた時代の面影を残す
唐琴通り。白壁の蔵や格子戸の町並みが広がる。▶P10

青い空の下、二人で西へ。